



## 令和4年度 弥栄小便り 第04号

7月に入りました。梅雨明け前の豪雨に見舞われないことを願いながら、1学期末に向けてラストスパートです。

### 1, 児童の考える「この1年で頑張りたいこと」その3

#### (1) 2年生・・・4名

- ・字を丁寧に書くことを頑張ります。 ・分かりやすく発表します。
- ・漢字の勉強を頑張ります。 ・本を読んで読書ノート頑張って書きます。

#### (2) 1年生・・・8名

- ・友だちと話すときは、優しい言葉で話す。 ・算数のお勉強でたくさん発表する。
- ・いつも字を丁寧に書く。 ・どんなときもみんなに優しくする。
- ・出会った人に自分からあいさつする。 ・困っている人に優しく声をかける。
- ・掃除を一生懸命する。 ・いろいろな人と一緒に遊ぶ。

### 2, 『弥栄村誌』を読み始めました。

弥栄のことを少しでも知るために、校長室にあった『弥栄村誌』を読み始めました。地名のことに興味があり、「弥栄」はもとより「安城」や「杵束」等の由来がどうなっているのだろうと気になっていました。まだ途中までしか読んでいませんが、「弥栄」の由来は分かりました。『弥栄村誌』58ページに、こう記されています。

〔新村名の選定に当たり、合併関係村、安城村・杵束村の東南部に聳える中国山脈の弥畝山は雄大にして、新村もこの弥畝山の如く雄々しく将来の弥栄を願う意味に於いて、最も適切な村名として弥栄村と決定したものである。〕

昭和31年8月の町村合併を機に、公募により決められました。

① シンボリック的存在である「弥畝山」から「弥」の一文字を取っている。

② 「益々栄えること」を祈念する「弥栄（いやさか）」という意味を重ねている。

という二つの理由が示されています。なるほどと思いました。また、実にめでたいネーミングだとも思います。こうした弥栄の「地名」に関する由来をご存じの方がいらっしゃいましたら、是非お教えてください。お待ちしております。

### 3, PTA健康安全部主催「学校保健委員会」および「応急手当講習会」

6月22日（水）の午後から、上記の会が催されました。

まずは「学校保健委員会」からです。「もっと元気！ずっと元気！弥栄っ子」と題し、口内環境の大切さについて講話をいただきました。年齢50を過ぎると、歯の大切さをいやというほど実感しています。自戒を込めて、児童にはこれからの長い人生、よい歯で暮らして欲しいものです。



続いて「応急手当講習会」です。「心肺蘇生法講習会」とも呼ばれ、溺水や心不全等で死に瀕している人を救うための大事な技術・心構えです。講話に実技を織り込みながら、真剣な雰囲気の中で会が進んでいきました。